

めざす子ども像

地域の絆を深めよう 平城の地でいのちを育もう

取組目標

食と農を通じて地域の絆を深めよう**【今年度の取組紹介】**

今年度も平城の地域性を活かした「食と農」の活動を実施することができました。米づくりでは、田んぼに入るのを躊躇していた子どもたちも次第に慣れ、泥んこになって和気あいあいと田植えを楽しんでいました。秋の稲刈りの時には、慣れない鎌を持って一束一束丁寧に刈取り収穫の喜びを味わってくれていました。

さつま芋の栽培活動では、さつま芋の生長も良く必死になって引き抜こうと友達と協力し合っている姿が印象的でした。後日、焼き芋にしたり、さつま芋汁にしたりと「食」の有難さも知ることができました。

中学校では、昨年度から引き続き行っている大根の栽培が予定より大根の生育が悪く、日程の関係上漬物の事業はできませんでしたが、活動の中に生徒の皆さんの地域の方への感謝の気持ちが感じられ地域の者もやりがいを感じることができました。

コロナ禍に始めたパンジーの栽培活動もこども園、学校の環境整備に一役かってくれています。吹けばとぶようなパンジーの種ですが、なくさないように慎重に種まきをしてっていました。

春まで、学校園に彩りを添えてくれることと思います。

**【今年度のまとめ】**

今年も、諸先生方、子どもたちの協力のもと無事に活動を終えることができました。

平城地域も、さらに田畑が少なくなっていますが、子どもたちには農業の大切さや難しさを学んでもらえる貴重な機会だと考えています。それぞれの年齢で活動に難しさがあるときは、高学年の子どもたちがサポートしたり、見守ってくれており、協力してものづくりをすることにやりがいを感じてくれていると思います。

日本古来より現在に至る「米」というものがどのような工程を経て、「米」から「ご飯」になっていくのかを身をもって体験できたことと考えています。

【来年度に向けて】

従来からの活動を継続していくとともに、地域の諸団体とも連携を強化し活動の幅を広げていきたいと思っています。子どもたちには地域の方と触れ合うなかで、自身も平城の一員である気持ちをもってもらい、地域の方には地域教育協議会の活動をより深く知っていただけるよう事業の成果や意義を広め、広報活動の充実に努めていきたいと思っています。

めざす子ども像

地域の絆を深めよう 平城の地でいのちを育もう

取組目標

食と農の活動を通して、地域との絆を深める**【今年度の取組紹介】****① 地域の方と協力して「サツマイモ」「大根」の栽培に挑戦！**

今年も年度当初に「平城“食と農”ふれあいフェスタ」は開催しないことに決定しましたが、人が生きていく上で一番の基本となる「食と農」を通じて、心身ともに健全な子どもたちを育成していくという平城中学校区の目標のもと、今年も地域の方たちと共にサツマイモと大根の栽培に取り組みました。今年は、4月末に「鳴門金時」の苗の数が十分に集まらず、「鳴門金時」「ひめあやか」「すずほつくり」の3品種合わせて400苗を植えました。

蔓きりや夏の猛暑の中の水やりなど地域の方々の力を借りながら9月20日には、3品種とも無事に収穫することができました。食べ比べはできませんでしたが、どのお芋も美味しく育てることができました。サツマイモの収穫が終わった畑を利用して、沢山の大きな大根を栽培しました。地域のイベントで中学生の“食と農”の取組（大根栽培）について紹介することができました。

② 地域、こども園・小学校・中学校で連携してパンジーの栽培！

小学生が種まきをして育てたパンジーを中学生がプランターへ植え替え、最後はこども園、小学校、中学校で水やりをして、花を咲かせることができました。校種や学年・年齢を超えて地域で連携することができた素敵な取組になりました。

**【今年度のまとめ】**

〇ここ数年沢山の人が一斉に活動することができませんでしたが、新型コロナウイルス感染症の位置付けが変更されたことで、地域の方々と生徒と一緒に活動したり、多くの生徒が実際に栽培に参加できる機会が増えました。地域の方々と一緒に活動することで、普段から見守っていただいている地域の方々への感謝や自分たち自身が地域の一員である自覚が育ちつつあるように感じました。

〇環境整美事業については、今年度も地域の方々の力を借りながら、生徒や職員も一緒に活動し、気持ちよく学習に取り組むことができる環境を作り出していただきました。

【来年度に向けて】

〇来年度は、さらに生徒たちが主体的・意欲的に取り組む視点を取り入れて、今年度の取組を踏襲しながら、地域と学校の双方が無理のない内容で取り組みたいと考えています。

〇生徒一人一人が平城地域の諸活動に対して主体的に組み、継続的な取組にしていくとともに、地域の方の協力を得て、環境美化活動への支援の輪をさらに広げていきたいと思っています。

めざす子ども像

「地域の絆を深めよう～平城の地で命を育もう～」

取組目標

地域・家庭・学校が、栽培・生産・命を育む取組を中心に、協力して学んでいく**【今年度の取組紹介】****◆米作り体験**

地域の方から学校の南に隣接したたんぼをお借りして、5年生が田植え・稲刈り体験を行いました。今年で14年目になります。田植えや稲刈りには、地域の方々や農協の方々が多数応援に駆け付けてくださいました。

**◆サツマイモ栽培**

1年生と6年生が、地域の方にやり方を教わりながらサツマイモを植え、世話をしました。10月には再び1年生と6年生が一緒に収穫をしました。6年生が1年生に教え、手伝う姿を地域の方がサポートしてくださいました。収穫した芋は、放課後子ども教室と共催の焼き芋大会でふるまわれました。

**◆パンジー栽培**

地域の方が中心になり、地域の校・園を彩るパンジーを種から栽培してくださいました。その植替え作業等に中学校・小学校・こども園がそれぞれ携わりました。

小学校では、園芸委員会が中心となり、植替え作業や日々の水やりを行い、地域と共に栽培を続けています。卒業式にはその花を飾り、卒業生をおくります。

【今年度のまとめ】

地域の方を集会や掲示で紹介することで、児童や保護者の意識づけになりました。地域の方々との協働による様々な栽培体験活動で、達成感や成就感を味わい、また、顔を合わす機会や、自然に挨拶を交わし話すことも増え、コミュニケーション力の育成につながっています。栽培活動等の事後活動として農業に携わる苦労や思いを教えていただいたり、収穫後の交流を行ったり活動ができました。

家庭科学習・図工科学習の支援、図書室や中庭の環境整備への支援など、様々な面で地域の方々のお世話になり、教育活動を進める上でもなくてはならない存在でした。

【来年度に向けて】

各学年の児童により効果的な栽培体験学習を年度当初に計画し、地域の協力を得て実行していきます。教職員と地域の方々とのつながりをより深めるためにも、顔合わせや意見交換の場を設定し、密接な関係づくりを図っていきます。校内で、地域と共に行う活動をまとめ、より計画的・継続的に行える体制づくりを進めています。実践内容の再度検討を図り、小中一貫教育の立場から子どもや教師の交流をより一層深めていきたいです。

めざす子ども像

「地域の絆を深めよう」～平城の地で命を育もう～

取組目標

食と農の活動を通して、地域の絆を深めよう**～園・家庭・地域が連携し、様々な体験を通して豊かな心と健康な体を育む～****【今年度の取組紹介】 栽培活動**

今年も地域の方と一緒に栽培活動をしました。4歳児は、サツマイモの苗植えと芋ほりを、5歳児は、田植えと稲刈りをしました。田植えと稲刈りでは有志の保護者の方もたくさん手伝いに参加してくださり、地域の方に田植えの仕方を教わりながら共に楽しみました。

収穫したサツマイモを使って、地域の方と焼き芋パーティーをしました。子ども達は、サツマイモを収穫した時から「焼き芋にして食べたい!」と楽しみにしていました。お芋を洗って、アルミ箔に包んで、地域の方が起こしてくださった火にくべ焼けるのをとっても楽しみに待っていました。「甘い!」「美味しいね」「おかわりしたい」と地域の方と一緒に食べ、大満足の子どもたちでした。

毎年継続して行ってきたことで、見通しをもって栽培活動に参加し、地域の方と一緒に楽しみながら活動する姿につながっています。

また、5歳児は作品展の共同制作の中で奈良の街のジオラマを作りました。その中に、田んぼや畑も作り、経験したことを再現していました。地域の方と一緒に活動したことが子どもたちの心の中に楽しかった思い出としてしっかり残っているのだなと感じる一幕でした。

**【今年度のまとめ】**

今年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になり、地域の方と相談しながら活動方法を考え実施できました。サツマイモの収穫や田植え、稲刈りを通して食への興味関心が高まり、地域の方への感謝の気持ちをもつことができました。保護者からのアンケートでも、地域で決める学校予算事業の取組の評価は高く、「地域の方と連携していろいろな体験をさせてもらえてすごく良い」との声が聞かれました。また、パンジーの栽培では、中学生が苗を届けてくださったり、小学生や地域の方と一緒に苗植えをしたりして、よりつながりを感じることができました。他にも地域の方や保護者の方の協力のもと、お話の会、体操教室、花植え、防災教室等を行うことができ子どもたちは様々な経験をすることができました。

【来年度に向けて】

今年度は、年度初めに地域の方と園の職員が顔を合わせる機会をもてたことでその後の活動がより円滑に実施できたので、来年度も早めに機会をもち、園児、保護者、地域が互いに心豊かな体験になるようにしていきたいです。